

レバノン被災民に係る物資協力の実施について

1 経緯

2024年9月中旬以降、イスラエル軍がレバノンへの大規模な空爆を実施、加えて10月1日には地上作戦を開始。約100万人を超える避難民が、レバノン国内で避難生活を余儀なくされている他、周辺国にも多くの避難民が流入している。

レバノンでは、上記被害に伴い、生活必需品が極端に不足し、人道的見地から看過し得ない状況となっている。UNHCRはレバノン被災民に対し人道的な国際救援活動(食料・生活・医療物資の供与等)を実施しているところ、今般、UNHCRから我が国政府に対し、レバノン被災民に早急に必要とされる毛布、ビニールシート及びスリーピングマットの譲渡要請がなされたものである。

今回PKO事務局から提供する毛布等は、UNHCRを通じてレバノン被災民に配布される(物資協力の概要については別添を参照)。

2 UNHCRへ提供する物品

- | | |
|------------|--------|
| ・毛布 | 6,500枚 |
| ・ビニールシート | 2,500枚 |
| ・スリーピングマット | 6,500枚 |

(参考)

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)のHP
<<https://www.unhcr.org/jp/>>

1 概要

レバノンにおける被災民を支援するため、人道的な国際救援活動を行っている**国際連合難民高等弁務官事務所 (UNHCR)** に対し、国際平和協力法に基づき、先方から依頼のあった**物資を提供**する。

【参考】

2024年9月中旬以降、イスラエル軍がレバノンへの大規模な空爆を実施、加えて、10月1日には地上作戦を開始。約100万人を超える避難民がレバノン国内で避難生活を余儀なくされているほか、周辺国にも多くの避難民が流入している。

2 提供物資

内閣府が人道支援のためにドバイに備蓄している以下の物資を提供。

- ・毛布【6,500】枚
- ・ビニールシート【2,500】枚
- ・スリーピングマット【6,500】枚

